耐風診断調査票(二次診断) 【木造住宅耐震(診断·改修)事業等補助金用】

会社名・代表者 会社名: 代表者名:	対象	項目	記入欄		
# 差先 FEL: Mail:	調査担当		会社名: 代表者名:		
##					
影影音報音名 民名:					
接触性 (1 級、2 級、末遊) □之の他 接触性 (1 級、2 級、末遊) □之の他 接触性 (1 級、2 級、末遊) □之の他 (1 級、2 級・末遊) □之の他 (1 級、2 級・末遊) □之の他 (1 公 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図		診断資格者名			
佐郎 大名 株 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪		診断者の資格			
###	Al I look list				
五の種類	依頼者		様		
対象建物		1生所			
#注	++ # 7+ #m	瓦の種類			
特弦	对 家 建 物				
模瓦の留め付け		構法			
平部					
平部 □ (ぎ(1 本以上) □ ねじ(1 本以上) □ 緊結線 □ その他 () □ 不明 () □ の種類が F 形かつ非防災瓦である場合、(ぎ等 2 本以上で緊結 □ 水化等なし □ 水化等なし □ 火化等なり □ 不明 () 単元の留め付け □ を登る □ 長木 □ 下費さ村 (種類:) 状態:□割れ □ 浮きき □ ズレ □ 飛散・脱落 □ 損傷 □ その他 () □ その他 () □ 全数 3 点緊結 居部 (2 本以上):□ (ぎ □ ねじ □ 緊結線 □ 全数 補強 (1 本以上):□ (ジ □ ねじ □ 下明 () 大物:□割れ □ 戸書き □ ズレ □ 飛散・脱落 □ 損傷 □ 全数 補強 (1 本以上):□ (ジ □ ねじ □ 下明 () 大物:□ □ 内 () □ 子の他 () □ 子の他 () □ 全数 補強 (1 本以上):□ (ジ □ ねじ □ 緊結線 □ 上の他 () □ 全数 3 点緊結 居部 (2 本以上):□ (ぎ □ ねじ □ 緊結線 □ 上の他 () □ 全数 3 点緊結 居物 (1 本以上):□ (ジ □ 本社 □ □ 下明 () 世 本 () □ 全数 前強 (1 本以上):□ (ジ □ 本社 □ □ 下明 () 世 全数 前強 (1 本以上):□ (ジ □ 本社 □ □ 下明 () 世 ()		桟瓦の留め付け			
平部					
平部					
現	- 本部				
#			部位:□瓦 □接合部 □瓦桟木 □下葺き材(種類:)		
軒瓦の留め付け			状態:□割れ □浮き □ズレ □飛散・脱落 □損傷		
###		劣化・損傷等の状			
野部					
大様 : □割れ □浮き □ズレ □飛散・脱落 □損傷 □その他 () □老数3点緊結 元称 (2本以上):□ □名が ・ □表数 ・ □系統 ・ □のと □ ※化等なし □劣化等あり □不明 () ・ □表成 □ □ □ □	軒部				
次					
神瓦の留め付け					
# 相互の留め付け		袖瓦の留め付け			
□全数補強なし □補強なし □不明 ()					
労化・損傷等の状況					
### 第	けらば部				
世界の他 () 一般国 () での他 () での他 () ではずの場合 ではずの場合 ではずの場合 ではずの場合 ではずの場合 ではずのりでは ではずののでは ではずのでは ではががである ではができまました。 () にはではではではではではではではできまました。 () にはではではではではではではできまました。 () にはできがではまままままままままままままままままままままままままままままままままま			状態:□割れ □浮き □ズレ □飛散・脱落 □損傷		
世棟の場合			□その他 ()		
棟の種類・状態		棟の種類・状態			
様の種類・状態			で棟の場		
様部					
横部 積み棟の □大回し等 □なし □不明() のし瓦の固定:□緊結線(相互緊結) □なし □不明() のし瓦の固定:□緊結線(相互緊結) □なし □不明() 状態:□浮き・ズレ □脱落 □損傷 □緊結材の切れ・浮き □しっくいの劣化 □その他() □劣化等なし □劣化等あり □不明() 状態:□瓦の浮き・ズレ・脱落 □板金の孔開 □その他() で修が必要な部位★ □平部 □軒部 □けらば部 □棟部 □谷部 □その他() □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。(上記「改修が必要な部位」がない) □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。(上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある)					
場合 のし瓦の固定:□緊結線(相互緊結) □なし □不明() 3/化等なし □劣化等あり □不明() 状態:□浮き・ズレ □脱落 □損傷 □緊結材の切れ・浮き □しっくいの劣化 □その他() ○劣化等なし □劣化等あり □不明() 状態:□瓦の浮き・ズレ・脱落 □板金の孔開 □その他() 改修が必要な部位★ □平部 □けらば部 □棟部 □谷部 □その他() □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。(上記「改修が必要な部位」がない) □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。(上記「改修が必要な部位」がない)	埔 郊				
少し私の固定: □繁結様 (相互繁結) □なし □不明 ()	1本 日Þ		也会		
劣化状況 状態:□浮き・ズレ□脱落□損傷□緊結材の切れ・浮き□しっくいの劣化□その他(□とのの後化□との他(□とのの後化□との他(□とのの表化□をの他(□とのの表化□をののままままままままままままままままままままままままままままままままままま			プロ		
□しっくいの劣化 □その他 () □劣化等なし □劣化等あり □不明 () 状態:□瓦の浮き・ズレ・脱落 □板金の孔開 □その他 () 改修が必要な部位★ □平部 □けらば部 □棟部 □谷部 □その他 () □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。(上記「改修が必要な部位」がない) □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。(上記「改修が必要な部位」がおい)		劣化状況	□劣化等なし □劣化等あり □不明()		
 谷部			状態:□浮き・ズレ □脱落 □損傷 □緊結材の切れ・浮き		
 谷部の状況 故修が必要な部位★ 以應:□瓦の浮き・ズレ・脱落 □板金の孔開 □その他() □平部 □軒部 □けらば部 □棟部 □谷部 □その他() □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。(上記「改修が必要な部位」がない) □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。(上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある) 			□しっくいの劣化 □その他()		
状態: □瓦の浮き・スレ・脱落 □板金の孔開 □その他() 改修が必要な部位★	谷部	谷部の状況			
□地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。(上記「改修が必要な部位」がない) □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。(上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある)	状態: □瓦の浮き・				
診断結果 ない) □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。(上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある)	以修か必要な部位★				
診断結果 □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。(上記「改修が必要な 部位」が1つ以上ある)	診断結果				
部位」が1つ以上ある)					
所見・要望事項			HN [元] W. T. うか(アの)の)		
	所見・要望事項				

- ※下線は令和2年国土交通省告示第1435号により改正(令和4年1月1日施行)された昭和46建告第109号の規定に対応する仕様を示す。 ※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図等にその位置と写真番号を示す。 ★「改修が必要な部位」が告示基準に適合する場合、原則、その部位の改修工事については補助対象
- 外とする。

□屋根伏図 □その他 ()				
(写真を添付)		(写真を添付)		
		at the		
□1 階	改修が必要な部位 □平部 □軒部 □けらば部	改修案		
□2 階	□棟部 (棟) □谷部 □その他 ()			
□1 階	□平部 □軒部 □けらば部			
□2階	□棟部 (棟) □谷部			
	□その他()			